

商工労働観光部におけるツキノワグマ対策関連の取組

【当面の取組方針】

ツキノワグマの出没等による宿泊施設を中心とした観光関連産業への影響を随時把握するとともに、本県の「ツキノワグマ対策基本方針」に基づき、観光客を受け入れる施設等の対応と観光客等への適切な注意喚起を行うことにより、クマの危険性に留意しつつ本県での観光を楽しんでいただけるよう、随時、正確な情報発信を行っていく。

I 観光施設への影響調査

- 調査実施日** 令和7年11月18日(火)
※11月12日～17日までの状況（10/24以降毎週実施）
- 調査方法** 電話での聞き取り調査
- 調査対象数** 40施設・団体等
※宿泊施設16施設、市町村観光協会22団体、旅行会社2社
- 調査結果の概要**
《影響》
 - 宿泊等キャンセルが5軒（2軒増加）、予約減少が6軒（4軒増加）
 - イベント等への影響なし。《対策》
 - 電気柵の設置、自動ドアの手動化、爆竹、クマ鈴・スプレーの携帯、掲示物・声掛けによる注意喚起などの対策が進んできている。

地域	調査施設・団体数	影響		影響有の内容（施設数）
		有	無	
県 央	11	3	8	宿泊キャンセル1、予約減少3、露天風呂・足湯閉鎖2
県 南	13	7	6	宿泊キャンセル2、予約減少1、ガイドキャンセル1、立入禁止4、
沿 岸	7	1	6	予約減少1
県 北	7	2	5	宿泊キャンセル2、予約減少1
合 計	38	13	25	宿泊キャンセル5、予約減少6
旅行会社	2	0	2	JTB盛岡支店、近畿日本ツーリスト盛岡営業所

（注）「影響有の内容」は複数回答のため「影響」「有」の数と合致しない場合がある。

II 情報発信・注意喚起

- 正確な情報発信**
岩手県の観光ポータルサイト「いわての旅」において、岩手県が発信する「ツキノワグマ情報」を配信
※県HPとのリンクにより最新情報を配信
- 注意喚起の周知徹底**
岩手観光キャンペーン推進協議会会員、（公財）岩手県観光協会賛助会員を通じて、観光関連事業者へのツキノワグマ対策への協力と観光客に対する注意喚起を重層的に要請

- いわて観光キャンペーン推進協議会
会員：商工観光関係団体、市町村等（80団体）
- （公財）岩手県観光協会
賛助会員：観光関係団体・事業者、市町村観光協会等（213団体）

「秋のクマ被害防止取組強化月間」について

秋は、きのこ採りや登山などで、人がクマの生息地である山林に入る機会が増える時期です。また、令和7年度はクマのエサとなるブナ類の大凶作が予想されており、人里への出没の増加が懸念されるところです。

予期せずクマと遭遇することにより、被害に遭う危険性が高くなることから、人身被害を防止するため、岩手県では令和7年10月から11月までの間を「秋のクマ被害取組強化月間」とし、被害防止の取組を実施します。

岩手県から皆さまへ

冬季でも人里のエサに慣れたクマは里山やまちに出てくる可能性があるため、引き続き警戒をお願いします。

クマに遭遇しないために

出かけたときの行動

食べ残し等、エサになるものを放置しない

音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピール

背を向けて走って逃げない

目を離さずに静かにゆっくり後ずさる

獲われそうになったら...

クマが攻撃してきたら

両腕で頭や顔をカバーし地面に伏せて防御する

岩手県では「ツキノワグマ被害防止対策」をホームページに掲載しています。

普段からツキノワグマの情報をチェックして対策しましょう。

クマによる人身被害をなくすため、県、市町村及び県友会が連携して、人里やその周りのクマの捕獲を強化しています。

※岩手県環境生活部自然保護課

TEL: 019-620-5200 019-629-5291 Email: FA0031@pref.iwate.jp

クマを目撃したらお住まいの市町村へ通報をお願いします